



校長通信

小学校5年生で少年院（改正少年法成立）

少年犯罪の低年齢化や凶悪化に対応するため、ということで改正少年法が5月25日に成立した。少年院送致は、今までは14歳以上であったが「おおむね12歳以上」に引き下げた。「おおむね」の幅を「1歳程度」としており、家庭裁判所の判断次第では小5でも少年院収容となるのである。（但し11歳になった5年生）

子ども（小5）がけんかをして相手に大けがをさせたしまった。警察官が訪れて、お子さんに話を聞きたいと切り出した。「たかが、子どものけんかですよ。」と母親は拒否した。しかし、これからはできない。調査権が明記され、本人を呼び出して質問する権利や家宅捜索・押収などの強制権限も与えられている。

法改正までは、少年院送致の道はなかった。14歳未満の少年は家庭的な環境で「育て直し」をする児童支援施設などに送致先が限定されていたためだ。要するに、ま



だ幼い子どもだし、将来のことを考えると少年院などという規律の厳しい場所ではは…。という配慮が働いていたと思う。しかし、こういう法律が必要となった背景には現行のままでは犯罪の抑止力にもならず、更には真相の究明に多大な障害を生じていたという事情もあったようだ。ただ、次のような意見もある。「質問が取り調べのようになり、少年が虚偽自白する恐れがある。」

今まで小学校が、生徒指導上の問題が発生したとしても少年院というような選択肢はなかった。しかし、これからは少年院送致という場面もあるということになる。まあ、私たちのこの周囲では、先のような事例はあり得ない話だとは思いますが。所で、法務省が小学生を受け入れる少年院に指定しているのは、全国に8施設あるそうだ。

予算（お金）がありません

市の校長会に出席し、教育委員会の担当者からいろいろと説明を受けます。「これについては予算がつかせませんでしたので、・・・」「光熱水費についても、節約を。」しかし、来年も10%の予算削減が待っている。どうなるのでしょうか。職員会議の案件や、職員に配布される文書用紙は、全て再利用である。よって、裏は全て関係のないものが印刷されているのである。慣れてしまうと気にもならないが。

一人でもいればいい



校内を歩きます。休み時間もあれば、掃除の時もあります。そうすると、途中で誰かと必ずすれ違います。ほとんどの子どもは、何事もないようにすれ違います。ところが、『あっ、先生だ。挨拶をしなければ。』表情が、そういっている子がいます。もちろん、その子からは「おはようございます」「こんにちは」の挨拶が返ってきます。遠くに姿を見つけて、段々とお互いの距離が縮まっても、声が出ない場合は、こちらから挨拶をかけます。その子の顔の表情を見ると、だいたい感じとして分かるのです。すれ違うときに挨拶ができる、そういう子が一人でもいるということは、素晴らしいことだと思っています。

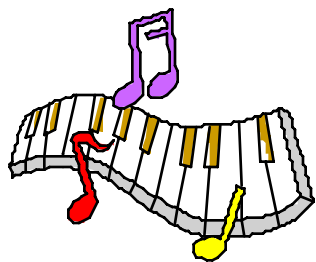
校内を歩きます。休み時間もあれば、掃除の時もあります。そうすると、途中で誰かと必ずすれ違います。ほとんどの子どもは、何事もないようにすれ違います。ところが、『あっ、先生だ。挨拶をしなければ。』表情が、そういっている子がいます。もちろん、その子からは「おはようございます」「こんにちは」の挨拶が返ってきます。遠くに姿を見つけて、

平日の授業時間に、皆さんは校長室に入ることはないと思いますが、結構にぎやかな音が聞こえてきます。というのは、校長室の上が音楽室だからです。その上、構造が木造ですから、ピアノの音ははっきりと聞こえてきます。

おかげで、階上の音楽を聴いて一人、季節感に浸っています。春の小川、おぼろ月夜、

季節を感じます

「みかんの花が 咲いている・・・」いいですね。新しい歌もいいですが、昔から歌い継がれている歌もいいです。歌は、昔日を想起させると言いますが全くその通りだと思います。



運動会の準備作業 後かたづけ

本当に ありがとうございます

前日から音を立てて降っていた雨で、早朝のグラウンドは所々に水たまりができていたうえに、少しぬかり気味の状態でした。しかし、おがくず、砂を入れて実施ということになり、そこで手早く、材料が手配されて瞬く間にグラウンドが整備されました。おがくず、砂を提供してくださった皆様には心から感謝申し上げます。

さて、子どもたちが開会式のために外に出る頃には、途中から降り出した雨が少し強くなってきました。いったんは、無理と判断し、体育館実施と宣言して間もなく、急に雨が小降りになり西の空が明るくなり始めたのです。開会式だけは外で、と考えていたのですが、結局は、好条件ではありませんでしたが、持久走を除いてプログラムを消化できたことは大変よかったですと思っています。保護者の皆様には、大変お世話になりました。お礼申し上げます。

